

# 消えゆく窓口

## 国労ちば

国鉄労働組合  
千葉地方本部  
発責 加藤 晃一  
編集 高橋 弘幸  
【電話】  
JR 2930 FAX 2934  
NTT 043(238)5963  
FAX 043(238)5967

団結力を  
国労に  
集めよう

### 5/27 小見川駅頭 宣伝行動

5月27日、6月1日に「みどりの窓口」の廃止が予定されている小見川駅前で「みどりの窓口廃止反対」のチラシ配布行動が行われた。



行動には、成田分会・成田保線分会・佐倉運輸区分会・地本の他、OBも参加した。当日は朝からあいにくの雨だったが、7時30分から用意した1000枚のチラシ入りポケットティッシュはあっという間に配り終えた。

配布後は予定していた駅周辺のポストイングは雨のため別途検討することとして、簡単な交流会を行った。窓口廃止前からジパング倶楽部の問い合わせなどもある状況で、「代わり」となるべく指定席券売機の配置は無くサービス低下は免れない。

隣の窓口設置駅まで運賃は負担しますと言っても、その「隣」の駅は遠く列車本数が少ない地域では利用者への様々な負担も計り知れない。

「商売事は始めるより、終わらせるときのほうが難しい」と言われる。いかに迷惑をかけずに終わらせるかが経営者としての責任の取り方だが、モバイル化が進んでいるとはいえ、現状では出札窓口を廃止しても利用者への負担が少ないとはいえない。



6月1日、JESS管内で初めての取り組みとなる営業施策である千倉エリアセンターが開所した。

今まで9時から17時の有人駅で営業していた、岩井駅・富浦駅・千倉駅・南三原駅を巡回に切り替えて「実質の無人駅化」を進める。会社は「毎日巡回で駅員が5分でも10分でも

駅にいるため、無人駅化ではない」「駅員のいる時間帯でのきっぷ販売が、初電から終電まで券売機できっぷを購入できるサービスを徹底した営業施策」。さらに「今までの無人駅へも週に2〜3回巡回し清掃するためサービスの向上となる施策」とのたまう。

しかし、今までは日中時間帯は駅員がいて直ぐに旅客の対応が可能だったが、駅員が巡回しているため、不在の場合は旅客との即応体制は取れない。

### 誰もが、無人駅化と感ずる 千倉エリアセンターがスタート

不在時には、お客さまサービスコールシステムで、千葉市にいる社員を呼び出して対応となるが、駅員の対応が必要な場合は、駅員が駆け付けるまで待つてもらいか、次回巡回に来る時間帯に来駅してもらおうようになる。何とも不条理な対応となる。これが会社の言うお客さまサービスの向上という姿なのだ。忘れ物や落とし物、問い合わせも同様に。券売機の故障や紙幣詰まりの時等は、どんな対応をするのかの問いに

**2022年度全国大会・東日本本部大会結果**

2022年度定期全国大会及び東日本大会の代議員選挙は、定数通りの立候補のため無投票当選となった。

- ◆ 全国大会代議員 北嶋 利則 (千葉電気分会)
- ◆ 東日本本部大会代議員 嶋田 福実 (新小岩保線分会) 飯田 秀樹 (大網保線分会)

私は昨年の12月に、線路から企業安全課に異動になった▼今までの慣れた仕事から異動したときはとても嫌だったが、今となってはとても働きやすく、今まで経験しなかった色々なことがやられて楽しく仕事が出来ている▼私自身プライベートでは色々なところに行くことが好きで、東北地方へ出かけたり、季節ものを買いに行ったりと、とても充実した休日を送っている▼いろんな所に行くことは今の体力がある若い時にしかできないと思う▼これからもプライベートを充実させながら仕事を頑張っていきたいと思う。(秀)

は「ケースバイケースです」と魔法の言葉を乱発してごまかすだけ。今回の開設に際して多くの質問をしても「まだ検討中」の繰り返し。東日本本部を通じた本社交渉が7月4日に実施される。

# 平成採用者交流会開催



成田分会  
北村智之さん

6月16日、地本において、地本執行委員と若手社員との意識共有を図るため平成採用者交流会を開催した。平成採用者は成田分会の北村さん、両国分会の中島さん、大網保線分会の飯田さんの3名が参加した。



両国分会  
中島英二さん

入社時は他労組に加入していたが、議論するのは主導権を握る偏った職種の事ばかりで自分たちのために活動してはくれなかった。

国労はJRで働く様々な職種の社員のために労働運動を行っているなど加入の動機などが話し合われた。



大網保線分会  
飯田秀樹さん

●国労は宣伝下手なのは？  
●会社から勝ち取ったものはあるのにアピールできていないのではないか？  
●いい意味での強引さも必要では？  
など、率直な意見が出された。



6月15日、地本会議室にて、津田沼分会と新浦安分会との合同職場集会在開催された。

## 複数駅でダニ・ネズミが闊歩

### 津田沼分会と新浦安分会が合同職場集会開く

両分会とも、複数の駅が集まり分会になっているため各駅(職場)から問題を出し合い議論した。

▼津田沼駅  
遺失物担当は4人のギリギリの人数で対応している。  
収入枠には入っていないためからなのか。

▼東船橋駅  
ダニやネズミが出る。ダニに関しては6月15日に布団・畳交換をして対応する予定。

▼下総中山駅  
第3者加害が発生し本人は休んでいる。  
▼南船橋駅  
2徹1日勤が、日勤が削られ2徹になったが、今はまだ暫定的に

日勤をつけている。窓口対応・放送・車イス実績などを数値化し、期間限定となっていた日勤の配置を延長する事ができた

今年2月から一人勤務になったが、今でも線路に落とし物をされると、不安でドキドキする。  
車いすのタブレットの使い方がわからない。勤務がわかっていないのに、休憩時間中に支店から電話が来るのが不愉快だ。  
など、様々な意見や問題が出されたが、ダニやネズミの問題は他の駅でも発生していることが明らかになった。

## 昨年に続く低額回答！

2022年夏季手当は昨年に続き各社とも私たちの要求とはかけ離れた低額回答となり、強く抗議するとともに持ち帰り検討したが最終的に妥結となった。

会社は収益の良い時には将来への備えが必要として労働者に配分する事は無かった。

夏季・年末手当は月々の生活費補填やローン返済など生活設計に組み込まれており、我々労働者に欠かせないものである。

収益が好調な時には将来のため、悪化する「金がない」として労働者に報いようとはしない。日本は労働分配率(儲けをどれだけ分配したか)が低いと言われ、長い間賃金が上がらず競争力の無い

国になってしまった。円安が進み生活は苦しくなるばかりだ。  
政府は企業へ給与の引き上げを呼びかけているが、日本を代表する企業であるJRは率先することなく「右へならえ」を決め込んでいる。これ以上世界から取り残されないためにも、企業としての責任を果たすべきだ。

会社名	本年度(ヵ月)	付随	前年度	前年比
北海道	1.60		1.60	±0
東日本	2.30		2.00	+0.30
東海	2.20		2.20	±0
西日本	1.34		1.30	+0.04
四国	1.35	ライフプラン+0.4月	1.21	+0.14
九州	1.64		1.25	+0.39
貨物	1.72		1.25	-0.05
JESS	2.05		2.10	-0.05
CTS	2.40	一時金5,000円	2.40	±0

### 当面する予定

◆ 拡大分会長会議

8月27日13時 地本会議室

◆ 第76回定期地方大会

9月23日千葉県教育会館

303号室